

あなたの心にジャストミート7月9日メッセージ
信仰の祝福(マルコ9:14-29)

最近のニュースを見ても、殺人事件や自殺など、ひどい事件が起こっています。それらは、霊的問題による結果です。人はみんな霊的問題を抱えて生まれてきます。それらは、表に現れずに埋もれているのですが、なにかのきっかけで現れるのです。現れなくても、ただ、理性で抑えて包装しているだけです。今日の聖書箇所の方は、自分でもコントロールできなく、自分も他人も分かる状態になって、なにもできなくなっています。霊的問題は、絶対に解決不可能であり、解決したと思っても7倍もひどくなってしまう。神様だけがキリストを通して神の国で解決できるのです。言い換えると信仰によってのみ解決できるものです。どのような信仰によって、だれにも解決できない霊的問題が解決するのでしょうか。

1. イエス様をキリストと信じる信仰こそ、霊的癒しの鍵となる。

1) 弟子たちの混乱(18-19)

このときの弟子たちは、イエスをキリストと明確に信じていませんでした。それゆえ、混乱していたのです。

2) 王(創世記3:15)、祭司(出エジプト3:18)、預言者(イザヤ7:14)

イエスがキリストということは、イエス様こそ、創世記3:15に預言されている蛇の頭を踏み砕くことができる女の子孫、まことの王だということです。また、イエス様こそ、出3:18にある犠牲のいけにえ、つまり、罪人の身代わりとして、贖いのいけにえとしてご自分をささげることによって、人間の罪と呪いとわざわいを完全に解決するまことの祭司です。イエス様こそ、イザヤ7:14に預言さ

れたように、インマヌエル、神様がともにおられるようになる道、いのちそのものである、まことの預言者です。イエスはキリストなので、霊的な問題をもたらす悪魔のしわざを打ちこわし、罪と地獄の運命から解放させ、神様と出合いのいのちの道を歩むことができるのです。弟子たちは、まだ、そのようにはつきりと確信を持っていませんでした。

3) 祈りの他には(29)

そのとき、イエス様は祈りの他には追い出せないとされます。それは、イエスがキリストだという信仰の他には方法はないということです。イエスはキリストという明確な信仰をもって祈ると、悪魔が追い出されるマタイ12:28が起こります。イエスを本当にキリスト信じることを優先しましょう。

2. イエス様を信じる私を通してイエス様の権威が現れることを信じる信仰こそ、霊的癒しの力となる。

弟子たちは、イエスがキリストという明確な信仰がなく、それによる権威が自分たちに与えられていると思っていませんでした。イエスがキリストと信じて受け入れるなら、その人の実力や人格、状態や環境などすべて関係なく、キリストによる権威がその人を通して現れます。そのことを信じましょう。そうしていると信じるなら、姿勢が変わるはずで、自分の存在が、キリストのからだにくっついているので、悪霊から見るとキリストに思える、いのち、光そのものであると認めましょう。そうすれば、自分勝手に生きることはいけません。悪霊が追い出され、霊的問題が解決できるキリストの権威を持ってい

るのです。天の御国の鍵です。それが自分を通して現れると信じましょう。

1) マルコ16:17、使徒3:6、8:5-8、16:18だれでも、このしるしは伴うと約束されました。ペテロは自分に、この権威があることを信じました。ペテロの人格や性格ではありません。因果応報の考えで、偉い人間になって人格、実力があればできるかのように思いますが、そうではありません。義人は信仰によって生きるのです。イエスをキリストと信じる人には、その祝福、資格は与えられています。恵みによることで、信じるだけです。救われたこと自体が答えで、自分自身が答え、人生すべてが答えです。ピリポはサマリヤの町に行き、キリストの権威が現れ、パウロが行くところ、パウロのハンカチを触っただけでも、その権威が現れました。

2) ヨハネ1:12、ガラテヤ2:20、1コリント3:16、1ペテロ2:9

イエスをキリストと信じた私を通してイエスの権威が現れることを信じましょう。信じた瞬間に変わってしまい、システムがそのようになってしまうのです。イエスのいのちがある、神様が宿る神殿です。

3) 教会に集まって確認し、現場が教会とな

り、信仰による祈りにより人が起こされる。(霊的問題解決士)

教会や礼拝で集まることは、牧師がそのシステムを通してメッセージを語るのを受けて確認することです。そして、現場に戻って、その現場で教会となり、キリストの権威が自分を通して現れるのを見るのです。信仰の祝福を礼拝で確認して正しく理解しましょう。信仰が明確になると、霊的問題をいやされるために人々が来ます。自分が霊的問題解決士となっていることが確認できます。「おできになるなら」と言った人に、イエス様が信じる者はできないことはないと言われました。そのとき、その人は「不信仰な私をお助けください」と言います。私たちもその気持ちを持って祈りましょう。イエスはキリストで、私を通してキリストの権威が現れると信じるように助けてくださいと祈りましょう。

1. 五旬節の聖霊の力が私に豊かに注がれるように 2. 疑わずにイエスの名で、霊的問題が解決されるように 3. 制限されずに私にあるイエスによって、霊的問題解決士として、悪霊が追い出され、暗闇のやぐらが砕かれて、信仰のやぐらが建つようにと、祈りましょう。あとのことはついてきます。

1部-マルコ9:14-29 信仰の祝福

なるほど/イエス様をキリストと信じる信仰が霊的問題の癒しの鍵となり、イエス様を信じる私を通してイエス様の権威が現れることを信じる信仰により実際に癒しのわざが現れる。

ならば/信仰の祝福を理解し、自分の内に信仰のやぐらが建つように祈り、それでイエス様の権威ある名前を疑わず呼んで、霊的問題の人に大胆に私にあるイエス様を差し出すようにしよう。

2部-詩篇23:1-6 祈りが成り立つ状態

なるほど/救いを感謝する心の状態から始まる祈りは、神様のミッションを祈るまで進み、答えられる。

ならば/礼拝のメッセージが祈りになり、考えと呼吸が祈りになるように、すべてを祈りの中で進めるようにしよう。